

一般社団法人日本専門医機構（第3期）
第26回理事会 議事録

1. 開催日時 令和2年6月19日（金） 16時00分～18時25分
1. 開催場所 日本専門医機構会議室（東京国際フォーラム G502）
1. 現在理事数 24名
出席理事数 22名
理事長 寺本 民生
副理事長 今村 聡 兼松 隆之
理事 有賀 徹 市川 智彦 神野 正博 北村 聖 羽鳥 裕
花井 十伍 森 隆夫 森井 英一
Web参加 浅井 文和 池田 徳彦 大川 淳 木村 壯介 久住 一郎
里見 進 南学 正臣 邊見 公雄 本田 浩 向井 千秋
森 隆夫 森井 英一 渡辺 毅
※(WEB)は「WEB 会議システム」利用による（「WEB 会議運用規則」第2条）
1. 現在監事数 3名
出席監事数 3名
監事 相澤 孝夫 松原 謙二
Web参加 跡見 裕
1. 陪席者数 3名
加藤 琢真 佐野隆一郎（厚生労働省 医政局医事課）
天瀬 文彦（日本医師会 生涯教育課）
1. 事務局 事務局長 堀部 真人 他
欠席理事数 2名
理事 井戸 敏三 寺本 明
1. オブザーバー 遠藤 久夫

議事次第

I. 協議事項

1. 事業報告、決算報告および会計監査報告について
2. 会費について
3. 総務・規約委員会 協議事項
 - (1) 社員資格の基準および入退会手続き（案）について
 - (2) 機構組織図（案）について
 - (3) 退職金支給乗率（案）について
 - (4) 情報セキュリティ関連規程の改定について
 - (5) テレワーク規程（案）について
4. 専門研修プログラム委員会 協議事項
 - (1) 専門研修プログラム二次審査について

- (2) 形成外科カリキュラム整備基準申請について
- (3) 病理および泌尿器科カリキュラム整備基準の改定について
- (4) 皮膚科および泌尿器科専門研修プログラム整備基準改定について
- (5) 専攻医向け COVID-19 感染症拡大の影響による機構対応案
- 5. 専門医認定・更新委員会 協議事項
 - (1) 専門医更新二次審査について(整形外科・脳神経外科・麻酔科)
 - (2) 専門医更新基準の改定について (病理、脳神経外科)
- 6. 「別添 e-learning に関して」の改訂について
- 7. 総合診療専門医検討委員会 協議事項
 - (1) 内科領域と総合診療領域のダブルボードについて
 - (2) 管理施設としての大学病院の要件について
 - (3) 総合診療地域医療研修について
- 8. 専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループ(仮)の設置・委員の委嘱について
- 9. 「専攻医相談窓口」(ホームページ内専用フォーム) の設置について
- 10. 定時社員総会 (6 月 30 日開催) の議題について
- 11. その他

II. 報告事項

1. 各種委員会報告

- (1) 専門研修プログラム委員会
- (2) 総務・規約委員会
- (3) 外部評価委員会
- (4) 認定更新委員会・共通講習委員会
- (5) 専門研修に関するハラスメント対策委員会
- (6) 基本領域連絡委員会 (プログラム、認定更新等)
- (7) 広報委員会
- (8) 総合診療専門医検討委員会
- (9) サブスペシャルティ領域検討委員会
- (10) 研究者養成に関するワーキンググループ
- (11) 専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループ(仮)
- (12) 財務委員会
- (13) COI 委員会

2. その他

- (1) 次回 (6 月 22 日) 定例記者会見について
- (2) その他

III. その他

16時00分、定刻に至り、理事長より挨拶の後、出席理事数の確認があり本理事会の成立を宣言し議事を開始した。冒頭に理事及び監事候補者選考委員会委員長より、新理事選任状況について現状ならびに最終選考までの予定が報告された。

I. 協議事項

1. 事業報告、決算報告および会計監査報告について

兼松副理事長より、本年度より監事の提言に沿って事業報告冒頭に理事長総括が加えられたことが説明され、令和元年度事業報告については承認された。

今村副理事長より、令和元年度決算が報告され、相澤監事より、会計監査・業務監査について何ら問題なく完了したことが報告され、理事の意見を求めた上で承認された。

2. 会費改定について

理事長より、監事からの提言を基軸に社員への会費改定が諮られ、各領域学会の会費（専門医1人あたり100円）については、2月21日の理事会にて承認されているが、団体の会費については1団体300万円とすることが承認された。しかしながら各団体の事情もあることから相談の上決定することとされた。この件は、社員総会・理事会にて幾度と議論を重ねた上での決議事項であることを社員総会にて社員に丁寧に説明することを含め、承認された。

3. 総務・規約委員会 協議事項

(1) 社員資格の基準および入退会手続き（案）について

兼松副理事長より、諮られたが、理事より、入社要件として複数の推薦書を要することや入社と入会の違いも整理した上で審査基準をどう定めるか、より慎重な審議を重ねるため継続審議事案となった。

(2) 機構組織図（案）について

理事より、運営委員会の建付けが問われ、継続してメール審議することで承認された。

(3) 退職金支給乗率（案）・情報セキュリティ関連規程改定・テレワーク規程（案）について

堀部事務局長より、社会情勢を踏まえ今後数度の改定が必要となることを前提に諮られ、承認された。

4. 専門研修プログラム委員会 協議事項

(1) 専門研修プログラム二次審査について

北村理事より、新規申請が113件あるうち精神科分34件については本理事会へ諮ることが間に合わなかったため、委員会に裁量権を委ねることが諮られ、承認された。

(2) 形成外科カリキュラム整備基準申請について

北村理事より形成外科によるカリキュラム制研修制度の整備基準申請が諮られ、承認された。

(3) 病理および泌尿器科カリキュラム整備基準の改定、皮膚科および泌尿器科専門研修プログラム整備基準改定について

北村理事より諮られ、承認された。

(4) 専攻医向け COVID-19 感染症拡大の影響による機構対応案

専攻医の今後の進路を十分配慮した対応を続けていくことが提言され、ホームページ上に掲載することが承認された。

5. 専門医認定・更新委員会 協議事項

(1) 専門医更新二次審査について(整形外科・脳神経外科・麻酔科)

市川理事より、「機構の定めた更新基準に基づき学会の1次審査に合格した」整形外科502名・脳

神経外科 1,649 名・麻酔科 1 名について機構認定専門医と承認されたことが報告され、承認された。

(2) 専門医更新基準の改定について（病理、脳神経外科）

市川理事より 2 学会の専門医更新基準改定要項について説明なされ、承認された。

6. 「別添 e-learning に関して」の改訂について

市川理事より共通講習 e-learning について年度を跨いで同じ講習を受けても 1 単位しか取得できないことが補足説明なされ、承認された。

7. 総合診療専門医検討委員会 協議事項

(1) 内科領域と総合診療領域のダブルボードについて

羽鳥理事より、概要・研修方法や最終段階として救急のカリキュラムを詰めること等が説明なされ、承認された。

(2) 管理施設としての大学病院の要件について

「入院患者総数 20 名以上/月」という条件を満たせる大学総合診療部門が 3 割に過ぎないことを踏まえ、要件緩和策の要望案が提示されたが、理事・監事より、まずは大学病院に総合診療部門設置の重要性を説きながらも、平成 35 年までの猶予期間の間により慎重な審議を重ねる方が良いとの意見を受け、継続審議事案となった。

(3) 総合診療地域医療研修について

各省庁・機構が認定した「地域医療を学ぶ研修に適した地域」における研修期間は現在の 12 か月から 6 か月へと定めることが諮られたが、監事より領域間同士の軋轢や都市部偏在をベースに多くの問題が巻き起こることが予想されるため、より慎重な審議を重ねるため継続審議事案となった。

8. 専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループ(仮)の設置・委員の委嘱について

北村理事より現在のシーリングシステムについて、公平さに欠けるとの一定数の意見を鑑み、特定の診療領域への偏在等避けるためにも、再検討するための WG 設置が諮られ、承認された。

9. 「専攻医相談窓口」（ホームページ内専用フォーム）の設置について

木村理事より専門研修に関するハラスメント対策委員会において「専攻医相談窓口」（ホームページ内専用フォーム）の設置が提案されたことが諮られ、承認された。

10. 定時社員総会（6月30日開催）の議題について

理事長より、議題が諮られ承認されたが、今村副理事長より、会費改定の件については社員に決定に至るプロセスを丁寧に説明して理解を得る旨、要望があった。

11. その他：なし

II. 報告事項

1. 各種委員会報告

(1) 専門研修プログラム委員会

北村理事より、プログラム整備指針も変更整備していきたい旨、報告なされた。

(2) 総務・規約委員会

協議事項とおなじ

(3) 外部評価委員会

理事長より、理事改選方法の定義付けや内示について具体的な検討事案が説明された。

(4) 認定更新委員会・共通講習委員会

市川理事より、来年 3 月に専門研修プログラムが修了することも踏まえて、専門医試験の在り方等

各基本領域学会にアンケートした上で統一基準を模索していることが報告された。また、基本領域学会専門医試験とサブスペシャリティ領域専門医試験の時期の逆転が起こる可能性について説明がなされた。補足として、渡辺理事より、サブスペシャリティ領域専門医受験資格に基本領域専門医資格を有していることが明記されていることの説明がなされた。

(5) 専門研修に関するハラスメント対策委員会

協議事項とおなじ

(6) 基本領域連絡委員会（プログラム、認定更新等）

協議事項とおなじ

(7) 広報委員会

浅井理事より、COVID-19 に対する機構の対応策について説明がなされた。

(8) 総合診療専門医検討委員会

羽鳥理事より、専門医移行措置案についての方向性が説明された。また 2021 年度新規プログラム数は 11 件が審査に通過したこと、現行 412 件のプログラム中 377 件が審査に通過したが、未申請のプログラムについてはリマインドをし、回答が得られない場合は休止とすることが承諾された。

(9) サブスペシャリティ領域検討委員会

渡辺理事より、COVID-19 の影響を鑑み本領域研修開始を 1 年遅らせることが報告され、承認された。また研修細則を早期に公開することも承認された。

(10) 研究者養成に関するワーキンググループ(仮)

大川理事より、2021 年度募集に合わせて開始するための具体案として当面 40 名のシーリング外定員とするが診療科や地域でどの様に配分するかなどを検討していることが報告された。

(11) 専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループ(仮)

協議事項とおなじ

(12) 財務委員会

協議事項とおなじ

(13) COI 委員会

森井理事より、委員会において提出された COI 申告書の確認を行い、全て問題ないことを確認した。2. その他

(1) 次回（6月22日）定例記者会見について

浅井理事より、次回の定例記者会見を6月22日に行うことが報告された。

(2) その他

III. その他

本理事会での決定事項

- ・社員の会費改定が承認された。
- ・2021 年度新規専門研修プログラム 113 件を承認した。
- ・機構認定整形外科専門医 502 名を承認した。
- ・機構認定脳神経外科専門医 1,649 名を承認した。
- ・機構認定麻酔科専門医 1 名を承認した。
- ・専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループ(仮)が設置され承認された。
- ・「専攻医相談窓口」（ホームページ内専用フォーム）の設置が承認された。

今後の会議予定

- ・令和 2 年度定時社員総会 令和 2 年 6 月 30 日（火）17 時 00 分～18 時 30 分以上をもって、本日

予定された議事を終了し、この議事内容を明確にするため議事録署名人として監事が指名され、18時25分に散会した。

令和2年6月19日

理事長 _____
寺本 民生

副理事長 _____
今村 聡

副理事長 _____
兼松 隆之

監事 _____
相澤 孝夫

監事 _____
跡見 裕

監事 _____
松原 謙二